

シンポジウム「21世紀の社会における学協会への期待」  
- 「日本化学連合（仮称）」創設に向けて - 開催のお知らせ

- 1 主催 日本学術会議 化学委員会
- 2 共催 日本化学連合創設準備委員会、化学技術戦略推進機構
- 3 日時 1月23日（火） 13:00～19:00
- 4 場所 化学会館ホール（東京都千代田区神田駿河台1-5）
- 5 次第

趣旨：

グローバル化の時代を迎えて、地球的な課題への認識が深まるとともに、化学に関連する科学・技術に対して、単なる応用、技術開発を超えた寄与が期待されるようになってきました。あらゆる物質・エネルギー循環に責任をもった発言ができるのは化学者および化学技術者です。日本社会の啓発、世界的な課題への正しい取り組み方の提案、などの役割の果たせる化学者集団の構築が必要になってきています。すなわち、先端的な専門性がますます重視される一方、社会の期待に応える俯瞰的な化学を育てる必要にもせまられていることとなります。そのためにまずは、現存する多数の化学関連学協会が連携して、時代の要請に応えられるように、より高い水準の貢献ができる体制をつくる必要があると考えました。本シンポジウムは、その第一歩として企画されたもので、各界の方々に講演をお願いしました。

プログラム：

- ・挨拶 岩村 秀（日本化学連合創設準備委員会委員長）
- ・講演（講演40分）
  1. 地球における循環を解き明かすための総合化学をいかに構築するか：「社会のための科学」への戦略的アプローチ（東京工芸大大学院工学研究科教授）安部明廣
  2. 科学・イノベーション・社会 - 学協会への期待（科学技術振興機構社会技術開発センター長）有本建男
  3. 大学・大学院の教育と人材育成：国、産業界、学協会に望むこと（日本学術会議化学委員会委員長 / 東京大学大学院理学系研究科長）岩澤康裕
  4. 日本化学連合（仮称）への産業界からの期待（化学技術戦略推進機構常務理事）染宮昭義
  5. 壁をこわそう（毎日新聞科学環境部記者）元村有希子

参加申込、問い合わせ先：

（社）日本化学会企画部

電話：(03)3292-6163、FAX:(03)3292-6318、

e-mail: ishihara@chemistry.or.jp)

〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5

担当：日本学術会議事務局

参事官（審議第二担当）付第三部担当（佐野）

電話：03--3403--1056